

第22回埼玉県障害者技能競技大会

アビリンピック 埼玉大会 2026

実施報告書

◆開催日◆

1日目: 令和8年7月4日(土)
2日目: 令和8年7月11日(土)

◆会場◆

1日目: 国立職業リハビリテーション
センター(所沢市並木)
2日目: ポリテクセンター埼玉
(さいたま市緑区原山)



アビリンピック公式キャラクター
『アビリス』



第22回 埼玉県障害者技能競技大会

アビリンピック

埼玉大会 2026

参加選手募集!
2026年
5/13(水)
募集締切

参加・観覧
無料!

1日目 2026年 7/4(土) 9:00~16:00
国立職業リハビリテーションセンター
所沢市並木4丁目2番地
(西武池袋線「新池袋」駅、または「新所沢」駅下車徒歩20分)

2日目 2026年 7/11(土) 9:30~16:00
ポリテクセンター埼玉
さいたま市緑区原山2丁目1番~8
(国鉄東武池袋線「原山」駅下車徒歩3分、または「緑区運動公園駅」バス下車徒歩6分)

※雨天等により延期となった場合、1日目、2日目の両日の予備日として、2026年7月23日(土) 9:00~16:00

物販や体験コーナーも実施予定! (ネット通販・ドローン操作・障害者スポーツ等...)

主催 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 埼玉支部
問合せ先: 048(813)1112 URL: <https://www.jeed.go.jp/location/shibu/saitama/kosho/abilympics.html>

後援 厚生労働省埼玉労働部/埼玉県/さいたま市/所沢市/埼玉県職業能力開発協会/一般社団法人埼玉県ビルメンテナンス協会/NHKさいたま放送局/テレビ玉/FM NACK5

協賛 POLUS 埼玉新所沢 埼玉りそな銀行 ヤマダ電機 所沢ヤギ

デザイン: 国立職業リハビリテーションセンターDTP・Web技術科 田中皓子
当冊は大会の広報および関係者での使用を目的として、印刷・複製・転載を禁じます。

大会ポスター: デザイン

国立職業リハビリテーションセンター
DTP・Web技術科 田中皓子

／らしく、はたらく、ともに／



JEED

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 埼玉支部

はじめに

アビリンピック埼玉大会は、障害のある方々が日ごろ培った技能を互いに競い合うことにより、その職業能力の向上を図るとともに、企業や社会一般の方々が障害者雇用に対する理解と認識を深め、雇用の促進を図ることを目的として開催しております。

第22回アビリンピック埼玉大会2026は、昨年度に引き続き、国立職業リハビリテーションセンター及びポリテクセンター埼玉の2会場において開催いたしました。両会場合わせて13競技14種目を実施し、延べ109名の選手にご参加いただきました。また、来場者や関係者、ボランティアを含む参加者総数は昨年度を大きく上回り、過去最大規模の大会となりました。多くの方々にご来場いただき、参加選手の高い技能や真摯に競技へ取り組む姿をご覧いただけたことを大変嬉しく思っております。

参加された選手の皆様には、これまで積み重ねてこられた努力と成果を存分に発揮されましたことに心から敬意を表します。競技を通じて得られた経験と自信を糧として、今後ますますご活躍されることを期待しております。また、金賞を受賞された選手の皆様には、埼玉県代表として全国アビリンピックの舞台で更なるご活躍をされることを心より願っております。

今大会では、埼玉県及びさいたま市の広報紙やSNS、公共施設での広報活動に加え、会場周辺の小・中学校へのチラシ・ポスター配布や、Jリーグ浦和レッズホームゲームへのブース出展など、新たな取組を実施いたしました。また、特別支援学校との連携による記録動画制作や、学生ボランティアの募集などを通じて、多くの方々にアビリンピックを知っていただく機会を広げることができました。さらに、昨年度からご支援いただいている協賛企業の皆様に加え、新たに4社からご協賛を賜り、選手や来場者への配布品、競技に必要な物品、表彰関連用品など、多方面にわたるご支援をいただきました。

今後も、障害のある方々が技能を高め、その成果を発揮できる目標の場として、また広く社会の皆様障害のある方々の能力や可能性をご理解いただく場として、大会のさらなる充実と発展に努めてまいります。

最後に、本大会の開催にあたりご後援、ご協賛をいただいた関係機関、企業・団体の皆様をはじめ、大会運営を支えてくださったボランティアの皆様、そしてすべての関係者の皆様に心より厚く御礼申し上げます。

埼玉県障害者技能競技大会運営委員会

会長 中原 英彦

目次

I 第22回アビリンピック埼玉大会 2026 競技資料

■はじめに	1
■目次	2
■第22回アビリンピック埼玉大会 2026 結果報告	3
■実施概要	6
■電子機器組立	7
・表計算	9
・ワード・プロセッサ	11
・DTP	13
・ホームページ	15
・パソコンデータ入力	17
・パソコン操作	19
・喫茶サービス	21
・ビルクリーニング	23
・ベッドメイキング（ソロ・ペア）	25
・オフィスアシスタント	27
・小売物流ワーク	29
・フラワーアレンジメント	31
■開会式	33
■閉会式・表彰式	34
■併催イベント	35
■デモンストレーション	37
■ボランティア	38
■広報活動	39
■大会関連①	44
■大会関連②	45

II 第22回アビリンピック埼玉大会 2026 大会関連資料

■大会関連資料	46
・アビリンピック埼玉大会実施状況等	47
・1日目大会日程（スケジュール）・競技会場等のご案内	48
・2日目大会日程（スケジュール）・競技会場等のご案内	49
・会場までの案内図	50
・第22回アビリンピック埼玉大会 2026 1日目会場図	51
・第22回アビリンピック埼玉大会 2026 2日目会場図	52
・埼玉県障害者技能競技大会運営委員会設置要綱	53
・令和8年度埼玉県障害者技能競技大会実施要綱	55
・第22回アビリンピック埼玉大会 2026 における競技実施体制について	59
・第22回アビリンピック埼玉大会 2026 選手アンケート結果	60
・第22回アビリンピック埼玉大会 2026 来場者アンケート結果	65



第22回アビリンピック埼玉大会2026 (埼玉県障害者技能競技大会)結果報告

日 時：＜1日目＞令和8年7月4日（土）9時～16時

＜2日目＞令和8年7月11日（土）9時30分～16時

場 所：＜1日目＞国立職業リハビリテーションセンター（所沢市並木4-2）

＜2日目＞ポリテクセンター埼玉（さいたま市緑区原山2-18-8）

参加者：694名（選手：109名、来場者等：463名、スタッフ：98名、ボランティア24名）



★大会を終えて

今年も会場の都合により2会場での開催となりましたが、無事に「第22回アビリンピック埼玉大会2026」を終えることができました。ご参加いただいた選手の皆様、また、ご協力いただいた企業や特別支援学校、施設、関係機関の皆さまに改めて厚く感謝を申し上げます。

今大会では、学生ボランティア募集や協賛・協力企業の拡大、広報活動の強化など、大会の認知度向上に向けた新たな取り組みを多数行いました。その結果、昨年度の参加者数499名から大幅に増えて過去最大規模での開催となり、多くの方々に選手たちの高い技能・技術を見ていただくことができました。

今後も、障害のある方々の目標になる大会となるよう、また多くの方々に選手の高い技能や前向きな姿勢を知っていただけるような大会となるよう、取り組んでまいります。

＜競技種目・参加選手数＞

13競技中8競技で定員数を超えるなど、総定員98名を大幅に上回る127名から申込みをいただきました。競技時間や備品数の都合により5競技で参加選手の調整を行うこととなりましたが、参加選手数は昨年度より14名多い109名となり、過去最多となりました。

13競技14種目実施

【内訳】・障害者職業訓練校他：19名（+3名）・特別支援学校：24名（+3名）・企業：53名（+8名）
・就労支援・福祉施設：7名（-1名）・その他（個人参加他）：6名（+1名）

※カッコ内の数字は令和7年度大会からの増減を示します。



◆広報活動

自治体等の広報紙や SNS への掲載依頼、会場近隣の公共施設へのポスター掲示依頼などの例年の取り組みに加え、会場周辺の小・中学校へのチラシ・ポスター配布や J リーグ浦和レッズホームゲームへのブース出展といった、アビリンピックを知らない層へのアプローチを試みました。



また、「つたえるカプロジェクト」として、埼玉県立入間わかさ高等特別支援学校に記録用動画撮影への協力を依頼しました。職業学科に在籍する生徒が動画撮影を行い、現在校内にて編集作業を行っていただいています。また、その様子を入間ケーブルテレビに取材していただき、競技の様子や選手のインタビューと合わせて7月12日（日）の「いるまにあ」にて放映されました。

◆協賛企業

昨年度協賛いただいた6社に加えて新たに4社が大会趣旨等にご賛同くださり、選手・来場者への配布物品や喫茶サービス競技で使用する飲食物、メダルや奨励賞ファイル・賞状、大会看板などを提供いただきました。なお、協賛企業名等については、大会のチラシ・ポスターに表示したほか、協賛企業紹介看板を作成して会場入口に掲示しました。協賛いただいた皆さま、ご理解、ご協力ありがとうございました。



◆併催イベント

今年も「交流広場」として、ユニバーサルスポーツ（ボッチャ、モルック）体験会や福祉法人、特例子会社による物販コーナー（手工芸品、調理パン・焼き菓子、苔玉ほか）などを開設しました。両会場とも多くの方に来場いただき、アンケートでも「毎年の物販コーナーでのパン・手作り商品（布物）楽しみにしています。今年は苔玉もあり楽しみが増えました」といったコメントが寄せられました。

また、今後新競技として実施することを見据え、「ネイル施術」「ドローン操作」のデモンストレーションとして体験会を行いました。合わせて60名以上の方が体験され、競技化に向け多くの方に興味を持っていただく貴重な機会となりました。



★今後の大会へ向けて

コロナ以降、参加者数は着実に増加しており、協賛企業をはじめ大会に関わっていただける企業・団体も年々増えてきております。また、今年は新たに埼玉県立大学の学生に対してボランティア募集を行い、24名の方にスタッフとして参加いただきました。それでも、今大会のアンケートにおいて大会のさらなる広報を求める声が多く寄せられるなど、「大会の認知度向上」は継続的な課題となっております。今後も、協賛・協力企業やボランティアの拡大、SNSを含むマルチメディア活用等を継続して推し進めていきたいと思っております。

一方で、開・閉会式会場や一部の競技会場で観客が入りきれないといった、大会規模の拡大に伴う課題も発生しております。選手や来場者に満足いただける大会、また参加したいと感じていただける大会とするため、大会運営の改善に努めてまいります。

★選手&来場者アンケートからのコメント紹介

《選手》

- ◆年々とにぎわっていて大きくなるたびに技術だけでなくステップアップの自信にもつながる。
- ◆自身のさらなるスキルアップのため参加したい。
- ◆良い成績を残せるように、また色々勉強して来年出場したいと思います。
- ◆かなり充実した大会でした。来年もこの大会に参加したいです。
- ◆できれば金賞を取って全国大会に行ってみたい。

《来場者》

- ◆選手のみなさまの技術力の高さに感動しました。
- ◆競技者や周囲の方が準備をしっかりされてきたように感じ、とてもいい刺激を受けました。
- ◆選手の一生懸命な姿が見られてよかった。
- ◆もっと広めて、皆さんに見ていただけたら良いのにとおもいました。
- ◆技能を高めたいと思うきっかけになり続ける大会であって欲しいです。

★競技結果発表

第22回アビリンピック埼玉大会2026 入賞者一覧

競技名	金賞	銀賞	銅賞
電子機器組立	後藤 秀一 国立職業リハビリテーションセンター	町田 拓実 国立職業リハビリテーションセンター	該当者なし
表計算	吉田 淳耶 国立職業リハビリテーションセンター	安見 俊輔 クボタインクルージョンワークス株式会社	吉川 正浩 国立職業リハビリテーションセンター
ワード・プロセッサ	布川 信恵 ボラスシェアード株式会社	田島 健人 第一ライフチャレンジ株式会社	高橋 拓海 株式会社JR東日本グリーンパートナーズ 戸田事業所
DTP	田中 皓子 国立職業リハビリテーションセンター	佐藤 茜 ホンダ太陽株式会社 和光事業部	—
ホームページ	曾我 竜也 ANDSMILE	該当者なし	該当者なし
パソコンデータ入力	高橋 尚誠 東京海上ビジネスサポート株式会社	藤田 公孝 個人	伊藤 舜弥 県立上尾かしの木特別支援学校 大宮商業分校
パソコン操作	大野 憲一郎 国立職業リハビリテーションセンター	高木 大輔 国立職業リハビリテーションセンター	増田 祥子 国立職業リハビリテーションセンター
喫茶サービス	橋本 つぐみ 埼玉県立特別支援学校 さいたま桜高等学園	西嶋 比菜 株式会社JALサンライト 石倉 安七 第一ライフチャレンジ株式会社	高橋 律夏 埼玉県立特別支援学校 さいたま桜高等学園
ベッドメイキング（ソロ） ※埼玉大会独自競技	高木 美穂 株式会社JR東日本グリーンパートナーズ 戸田事業所	志村 遥 ゆめの園アクト浦和多機能型事業所	黒野 智世 株式会社JR東日本グリーンパートナーズ 戸田事業所
ベッドメイキング（ペア） ※埼玉大会独自競技	舟山 英世 平林 楓貴 株式会社西武バレット	志村 遥 小松 弘実 ゆめの園アクト浦和多機能型事業所	該当者なし
小売物流ワーク ※埼玉大会独自競技	田中 多間 国立職業リハビリテーションセンター	越阪部 望 埼玉県立入間わかさ高等特別支援学校	該当者なし
オフィスアシスタント	池上 尚希 株式会社JR東日本グリーンパートナーズ 戸田事業所	坂中 平和 ボラスシェアード株式会社	大熊 天音 株式会社バンダイナムコウィル
ビルクリーニング	河野 雅也 日東ひまわり関東株式会社	高橋 鳳生 埼玉県立特別支援学校羽生ふじ高等学園	新井 昂祐 埼玉県立特別支援学校羽生ふじ高等学園
フラワーアレンジメント	原田 美穂 個人	該当者なし	該当者なし

◆埼玉大会から全国大会へ

入賞された皆様おめでとうございます。本大会で金賞をとられた選手については、本年12月4日（金）から愛知県国際展示場で開催される「第46回全国アビリンピック」において、改めて他県の代表選手とその実力を競い合う次の舞台が待っています。埼玉県代表として、一層の活躍を期待しております。



実施概要

■開催日程

<1日目>令和8年7月4日(土) 9時～16時

<2日目>令和8年7月11日(土) 9時30分～16時

■開催場所

<1日目>国立職業リハビリテーションセンター（所沢市並木4丁目2番地）

<2日目>ポリテクセンター埼玉（さいたま市緑区原山2丁目18-8）

●主催：独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 埼玉支部

●後援：厚生労働省埼玉労働局／埼玉県／さいたま市／所沢市／埼玉県職業能力開発協会／
一般社団法人埼玉県ビルメンテナンス協会／NHKさいたま放送局／テレ玉／FM NACK 5

●協賛：



埼玉新聞社



埼玉りそな銀行



菓子文化を見つめる
所沢ナビ

所沢ナビ
TOKOROZAWA
NAVI

住まい価値創造企業
POLUS
ボラスグループ



YAOKO
MARKETPLACE



NEX NIPPON
EXPRESS
NXキャリアロード株式会社

●大会参加選手所属先：25 か所+個人

<所属先一覧> ※五十音順

【企業】クボタインクルージョンワークス株式会社、株式会社サイサン、株式会社シーエックスカーゴ、株式会社ジェイコムハート、株式会社西武パレット、第一ライフチャレンジド株式会社、デコボコベース株式会社、東京海上ビジネスサポート株式会社、日東ひまわり関東株式会社、株式会社バンダイナムコウィル、文化シャッター株式会社、ポラスシェアード株式会社、ホンダ太陽株式会社、ランクラボさいたま新都心、ANDSMILE、株式会社JALサンライト、NXキャリアロード株式会社、株式会社 JR 東日本グリーンパートナーズ

【訓練】国立職業リハビリテーションセンター

【学校】県立上尾かしの木特別支援学校大宮商業分校、埼玉県立入間わかくさ高等特別支援学校、埼玉県立特別支援学校さいたま校高等学園、埼玉県立特別支援学校羽生ふじ高等学園

【施設】社会福祉法人埼玉福祉事業協会、ゆめの園アクト浦和多機能型事業所

来場者数

(1) 選手：109 名 (1日目 79 名、2日目 30 名)

(2) 来場者：463 名 (1日目 270 名、2日目 193 名)

(3) スタッフ他：98 名 (1日目 56 名、2日目 42 名)

(4) ボランティア：24 名 (1日目 17 名、2日目 7 名)

合計 694 名 (1日目 422 名、2日目 272 名)

■各競技参加者数

右図のとおり

No.	新規 種目 ※1	競技種目名	定員	参加 選手数	所属先内訳 ※2						障害種別内訳 ※3		
					就	訓	施	学	他	身体	知的	精神	
1		電子機器組立	4	3	0	3	0	0	0	0	0	0	3
2		表計算	10	13	7	5	0	1	0	2	2	9	
3		ワード・プロセッサ	5	6	5	0	0	1	0	1	3	2	
4		DTP	4	2	1	1	0	0	0	0	0	2	
5		ホームページ	5	4	4	0	0	0	0	0	0	4	
6		パソコンデータ入力	15	19	10	3	0	4	2	0	19	0	
7		パソコン操作	5	3	0	3	0	0	0	3	0	0	
8		喫茶サービス	10	12	5	2	1	4	0	0	11	1	
9		ビルクリーニング	10	11	3	0	0	8	0	0	9	2	
10		ベッドメイキング・ソロ	4	4	2	0	2	0	0	0	4	0	
11		ベッドメイキング・ペア	6	6	2	0	4	0	0	0	6	0	
12		オフィスアシスタント	12	15	10	0	0	3	2	0	8	7	
13		小売物流ワーク	5	7	3	2	0	2	0	0	6	1	
14		フラワーアレンジメント	3	4	1	0	0	1	2	1	1	2	
合 計			98	109	53	19	7	24	6	7	69	33	



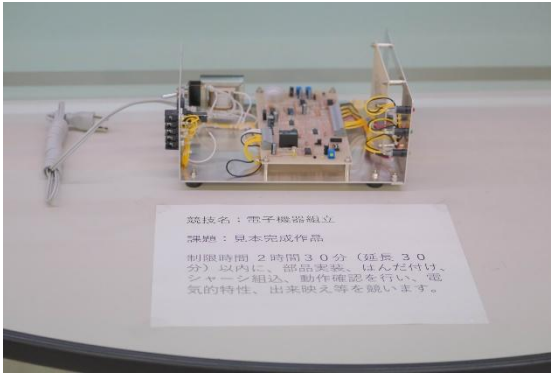
電子機器組立

競技内容

電子部品を、仕様書に従い、制限時間内に正確に組立てます。用意されたプリント基板に電子部品を差し込んで回路を組立てていきます。

小さな部品を正確に扱う技術はもちろん、デジタル回路の原理や、さまざまな部品に関する知識が必要になります。また、製品が正しく動作するためにははんだ付けの技術がとても重要です。

はんだ付けする部分はたくさんあり、部品によっては熱に弱いなどそれぞれ条件が異なります。その全ての部分に、素早く、最適な量のはんだ付けをするには、高いスキルが求められます。すべての部品の取り付け後、正確に動作するかを確認すれば完成です。





講評

皆さん、これまでの練習の成果を最大限発揮されていました。

作業中は、問題用紙の基板図にはんだ付けが終わった個所を蛍光ペンでマーキングするなど、各自これまでの練習で培ってきた工夫をされていてよかったと思います。

残念ながら時間内に動作しなかった方もいらっしゃいましたが、最後まで諦めず不具合の箇所を探されていて素晴らしいです。

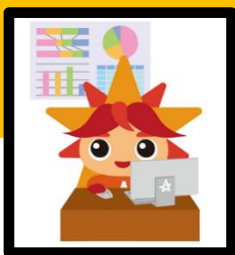
基板製作に当たっては、動くことはもちろん重要ですが、その基板がお客様の手に渡ったときに「わぁ～、きれい!!」とお客様に感動して頂くことも重要です。是非、今後、はんだ付け作業をされるときははんだ付けの美しさも意識して頂ければと思います。

全国大会に出場される方におかれましては、シャーシの製作も課題に含まれています。特に束線の美しさは重要になってきますので、しっかり練習して大会に臨んで頂ければと思います。全国大会でのご検討をお祈りしています。

参加選手

(3人)

氏名	所属先
町田 拓実	国立職業リハビリテーションセンター
—	国立職業リハビリテーションセンター
後藤 秀一	国立職業リハビリテーションセンター



表計算

競技内容

この競技は、マイクロソフト Excel のさまざまな機能、装飾・編集、関数式による表の完成、データ処理、グラフ作成などをどれだけ自由に使いこなせるかを競います。

数値の入力、罫線変更、図形描画、フォント、条件付書式設定などの基本的な操作から、関数を駆使して表を完成させたり、フィルターによる抽出や並べ替えなどを行い、グラフ作成では指示された設定を行なうなどのスキルが試されます。





講評

例年、課題2の関数の出来で差が出ていましたが、今回はみなさんよく対応できていました。今回の採点結果を見ると、課題3の出来で差が出ていました。抽出や小計で平均を求めるところでミスが多くみられました。また、ピボットテーブルが久しぶりに出題されたので、戸惑われたと思います。

この表計算の競技は、4つの課題を回答することが目的になっていますので、75分間ですべての課題を形にする必要があります。仕事でも4つ提出が必要なのに100%完成した1つの提出では、認められません。4つすべての提出が必要です。それは80%の出来であっても全て提出することが大切だと思います。

仕事での集計作業は、課題2のようにSUMIFS関数などの関数を使うケースと課題3のように「小計」機能やピボットテーブルを使うケースがあります。関数とピボットテーブルを使う会社が多いかと思いますので、ピボットテーブルも練習しておきましょう。

今回、XLOOKUP関数やIFS関数を使って回答している競技者がいました。新しい関数が増えて関数をネストしなくてもよくなりました。スピルやパワークエリ、パワーピボットなどの新しい機能もぜひ勉強してみてください。いままでのExcelの使い方、考え方が変わります。

また、仕事でもAIを使っているところもあるかと思います。AIを使ってExcelを便利に、短時間で仕上げるのが求められます。

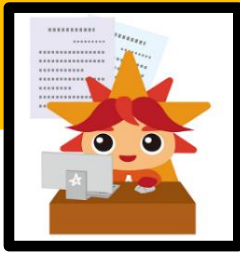
参加選手

(13人)

氏名	所属先
安見 俊輔	クボタインクルージョンワークス株式会社
上島 一晃	文化シャッター株式会社
吉川 正浩	国立職業リハビリテーションセンター
中川 智行	国立職業リハビリテーションセンター
大日方 政史	ホンダ太陽株式会社 和光事業部
篠崎 純	ホンダ太陽株式会社 和光事業部
伊藤 太陽	第一ライフチャレンジド株式会社

氏名	所属先
藤田 昌幸	株式会社 JR 東日本グリーンパートナーズ
佐藤 桂輔	ポラスシェアード株式会社
田村 要	埼玉県立入間わかさ高等特別支援学校
松林 健一	国立職業リハビリテーションセンター
吉田 淳耶	国立職業リハビリテーションセンター
田場 盛尚	国立職業リハビリテーションセンター

ワード・プロセッサ



競技内容

マイクロソフト Word を使用し、簡易文の作成、作表などをおこないます。

選手には、文書や表が渡され、それと全く同じ物を作成します。

それぞれの課題には、文字の入力だけではなく Word に含まれる、WordArt、図形描画、ピクチャーの挿入など、さまざまな機能の利用が組み込まれています。これらを自由に使いこな

せるかを競います。また、競技課題とまったく同じものを作成しようとしても、ほんの少し文字や図形のサイズが違っただけで文書のバランスが崩れ、後からの修正が難しくなります。さらに、できあがった課題をカラー印刷する際、色の選択やコントラストにも気を配り優れた作品に仕上げる技能も要求されます。





講評

今回の競技課題では、文字入力のみだけでなく、指示どおりに文書を作成する正確性、見やすく整ったレイアウトを作る完成度、そして限られた時間の中で効率よく作業を進める力が求められました。

全体として、丁寧に取り組まれている姿勢が多く見られました。特に、フォントや文字サイズ、段落設定、表や画像の配置などを適切に設定し、見やすい文書に仕上げようという意識が感じられました。一方で、細かな書式設定や文字・図形の配置、見直しの時間を十分に確保できたかどうか、得点の差につながる場面もありました。ワードでは入力の速さだけでなく、最後まで確認し、小さなミスを減らすことが非常に重要です。特に完成後に見直しを行うことで、多くのミスを防ぐことができます。

今回の経験を通して、それぞれが自分の強みや課題を見つけることができたと思います。ぜひ今後の糧にしてください。さらに技術を磨いてください。

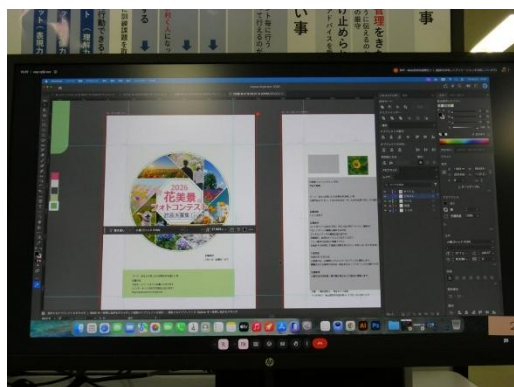
参加選手

(6人)

氏名	所属先
田島 健人	第一ライフチャレンジド株式会社
高橋 拓海	株式会社 JR 東日本グリーンパートナーズ
上田 将徳	株式会社 JR 東日本グリーンパートナーズ
布川 信恵	ポラスシェアード株式会社
小宅 康仁	ポラスシェアード株式会社
五十嵐 大河	埼玉県立入間わかかくさ高等特別支援学校



D T P

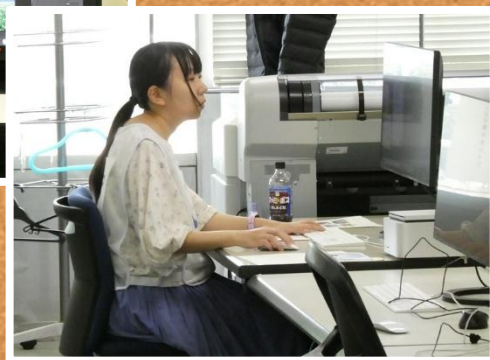


競技内容

提供された画像や文章素材を使って、チラシやリーフレットを作成します。課題をよく読み、選手それぞれがイメージを発揮してラフスケッチを描き、パソコンを使って文字の種類や色、画像などを選んで実際のデザインを仕上げていきます。与えられた素材をどう活かすか、見やすいレイアウトは、見る人を惹きつけるくふうなど、さまざまな技術や創造力を駆使して、それぞれの個性を競い合います。印刷するための色の指定、写真の解像度や印刷に適した設定など数多くの知識や、自

在にソフトを操作する技術が求められます。





講評

今回のDTP競技では、みなさんが事前にしっかりと準備してきたことが、作品からよく伝わってきました。限られた時間の中でも、テーマに向き合い、自分なりに考えながら制作に取り組んでいた姿勢がとても印象的でした。

デザインについても、アイデアに富んだ作品が多く、それぞれの工夫や個性が感じられました。見る人にどのように伝えるかを考えながら表現しようとしていた点は、とても良かったと思います。

そのうえで、さらに良い作品にしていくためには、選んだモチーフやデザインによって紙面にどのような空間が生まれるのかを意識できるとよいと思います。印象的な形や構成は作品の魅力になりますが、その周りにできる余白や要素同士の距離感も、全体の見え方に大きく関わってきます。余白がただ空いている場所にならないように、見る人の視線の流れや紙面全体のバランスを考えながら整えていくことで、より見やすく、まとまりのあるデザインになります。

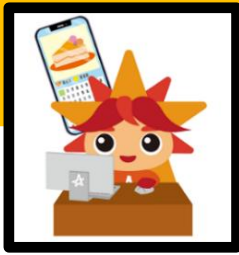
また、タイトルやメインのビジュアルだけでなく、説明文などの小さなテキストにもぜひ目を向けてみてください。文字の大きさや行間、配置を少し意識するだけでも、読みやすさや作品全体の印象がさらに良くなります。

今回の経験を通して得た気づきを、ぜひ次の制作にも生かしてください。みなさんの発想力や工夫を大切にしながら、これからも、より伝わりやすく魅力的なデザインに挑戦して欲しいと思います。

参加選手

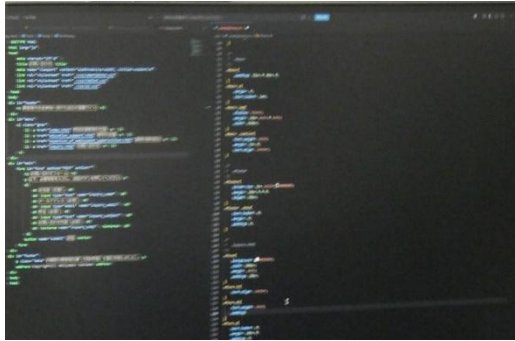
(2人)

氏名	所属先
佐藤 茜	ホンダ太陽株式会社 和光事業部
田中 皓子	国立職業リハビリテーションセンター



ホームページ

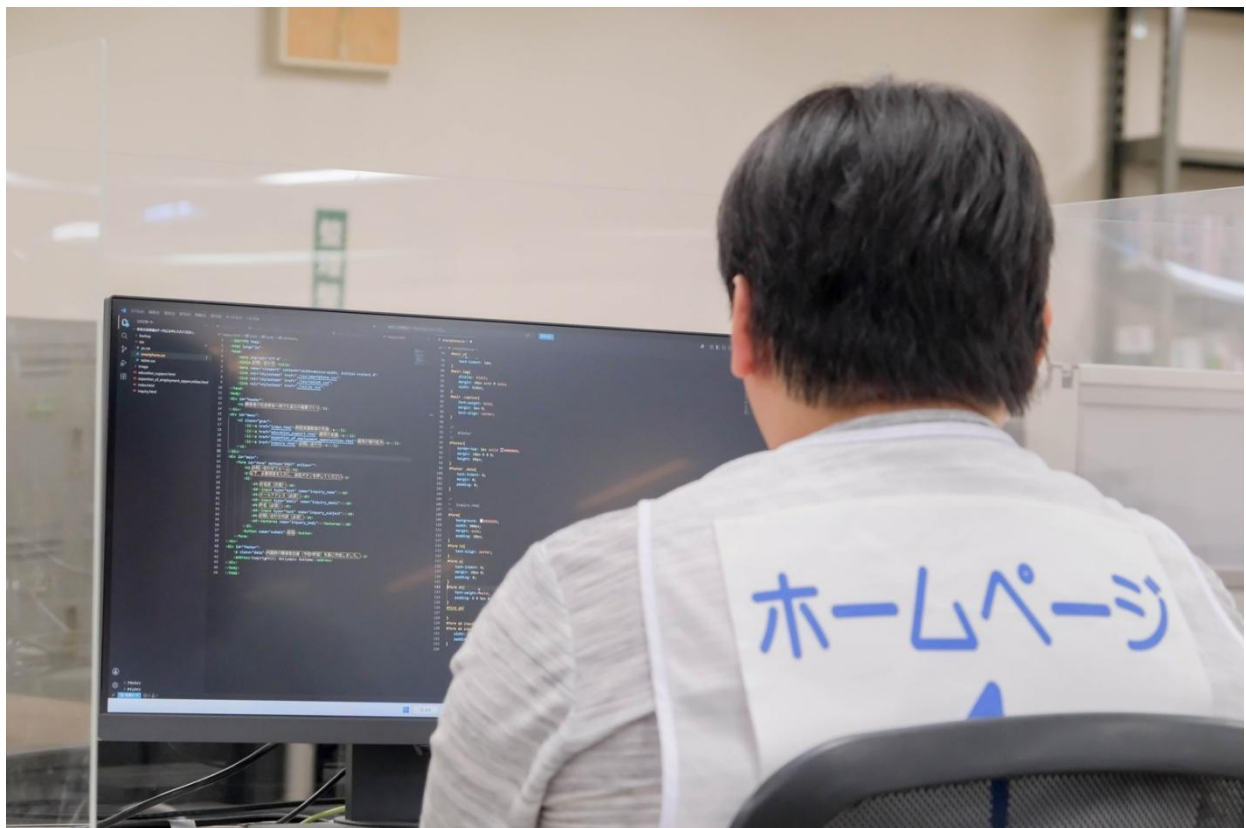
競技内容



選手には、予めホームページに掲載する文章素材と画像データの他に、デザインや構成などに関して説明した仕様書が提供されます。仕様書をもとに、HTML という言語を使って作成します。

ホームページづくりで大切な事は、お年寄りや障害のある方にも使いやすいよう、アクセシビリティが考慮してある事です。また、ユーザ

ビリティ向上のためには、レスポンスデザインを導入することで、画面サイズに応じて自動的にレイアウトが調整され、スマートフォンやパソコン等の端末の種類によらず、ストレスなく情報を閲覧できる事も重要です。





講評

「障害者の社会参加へ向けた自立の基盤づくり」をテーマとした Web ページ制作を課題としています。昨年度に引き続き、スマートフォン、タブレット、デスクトップ PC のそれぞれの端末の画面幅に応じてレイアウトを変更させるレスポンス Web デザインに従った Web ページの制作を題材としています。また、全国大会の競技方式にならって、競技者には事前公開課題について競技当日までに個々で作成したデータを競技会場に持ち込み、追加仕様を満足する Web ページ制作に取り組んでいただきました。

追加仕様の内訳としては

1. こちらで指定した仕様
2. 競技者本人が考える仕様

に分類できます。1 については、仕様をよく理解した上でのコーディング能力が問われます。今回は特に「テキスト」と「画像」の配置について問われ、競技者の中では出来/不出来が 2 分された結果になりました。

2 については、コーディング能力だけではなく、目標とする Web ページのイメージを想定しながら、画面構成に加えて、アクセシビリティ及びユーザビリティ等に配慮した仕様を考える必要があり、設計能力が問われます。競技者の方には、コーディング能力だけでなく、さらなるステップアップとして、仕様を策定する能力を養っていただければと思っています。そのためには、他の良質な Web ページを参考にしながら、オリジナルな Web ページを最初から自分で作ってみると良いでしょう。

参加選手

(4人)

氏名	所属先
曾我 竜也	ANDSMILE
堀川 真帆	ラシクラボさいたま新都心
稲葉 健一郎	ANDSMILE
前田 祐也	ポラスシェアード株式会社

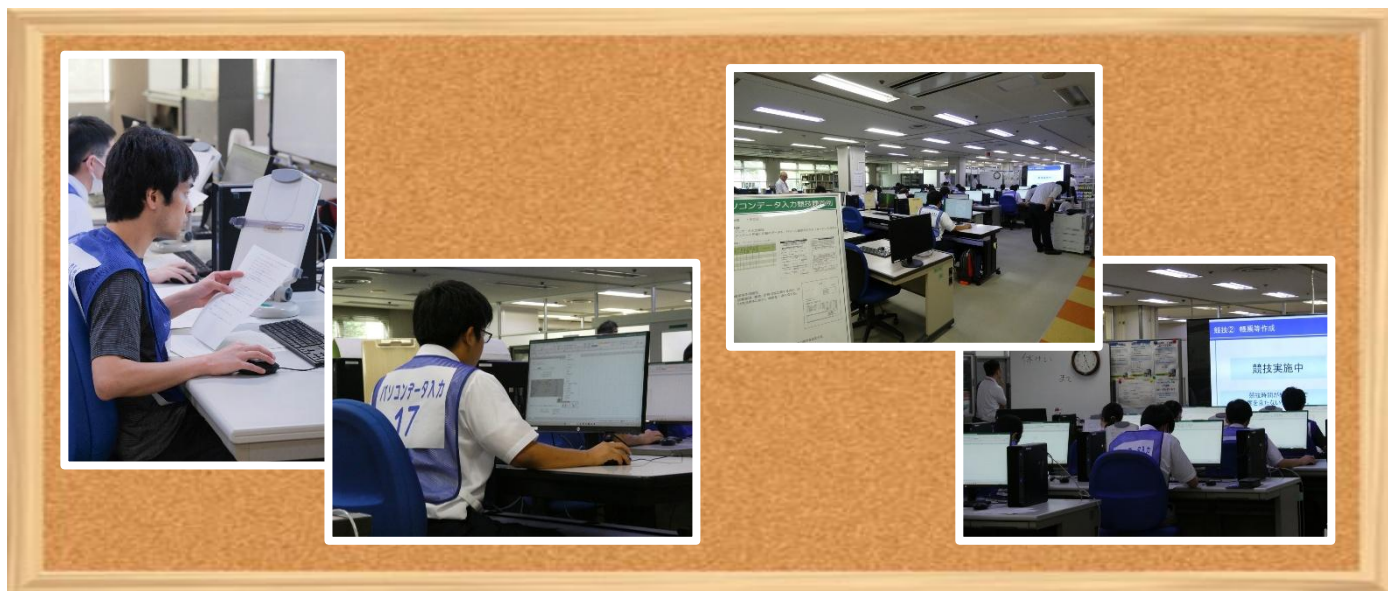


競技内容

与えられたデータをミスなく、いかに数多く入力できるかを競う「アンケート入力」、マイクロソフト Excel を使って入力ミスや計算ミスなく、体裁の整った請求書などを作成する「帳票等作成」、完成見本（正解）を見ながら、文書中の誤字を修正する「ワープロ文書修正」の3つの課題に取り組みます。



制限時間内にたくさん入力しなければならない、と急いだ結果、入力したデータの確認が十分できずにミスになった方がいると感じました。実際の仕事では、自分の入力したデータに間違いがあると、自分以外の誰かがそれを修正したり、本当にミスなく入力されているか信用できないので一から確認しなおしたり、というような余計な仕事が増えてしまいます。たとえ入力するスピードがゆっくりでも、入力ミスが全く無い人の方が仕事では信頼されると思います。このような入力作業では、まず、正確にデータを入力できることと、入力したデータを確認することを身につけ、そのあとに、少しずつスピードが上がるように訓練することを心がけてください。



課題②帳票等作成については、指示されたとおりに作業できたかどうかを示す作業完了率の平均が 81.3%でした。

見本と同じような書類をマイクロソフト Excel で最初から作っていく課題でしたが、どこから手を付けて、どういう順序で進めようか、迷っている方がいました。迷っている間に時間が迫ってきて、結果的に自分の仕事の成果を印刷したり、保存できなかったりした人もいました。実際の仕事では、ある程度自分でどう進めるかを考えなければいけない場面もあります。このような、見本と同じものを作ってください、といった作業では、自分はこの手順で作っていく、というような段取りがスムーズに立てられるように訓練することを心がけてください。

課題③ワープロ文書修正については、①修正すべき箇所が正しく修正できたかどうかを示す正解率の平均が 82.6%でした。

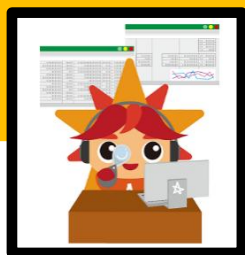
今回は皆さん競技時間終了までミスがないか確認されていたように思います。実際の仕事でもこのような紙と画面の内容を見比べて違っている文字を直してください、という作業では、ひととおり修正したあと、気づけなかった箇所がないかどうか、文章の最初から最後まで1文字ずつ見比べるような丁寧な確認を、時間のある限り繰り返す習慣が身につくよう訓練することを継続して心がけてください。

参加選手

(20人)

氏名	所属先
藤田 公孝	個人参加
山田 雅康	個人参加
高橋 尚誠	東京海上ビジネスサポート株式会社
安野 加奈恵	株式会社サイサン
伊藤 舜弥	県立上尾かしの木特別支援学校大宮商業分校
早川 美帆	第一ライフチャレンジド株式会社
高橋 佑季	第一ライフチャレンジド株式会社
鹿庭 裕太郎	第一ライフチャレンジド株式会社
小林 芽衣奈	株式会社 JR 東日本グリーンパートナーズ
佐野 幹太	株式会社 JR 東日本グリーンパートナーズ

氏名	所属先
谷 幸紀	ポラスシェアード株式会社
佐藤 響	ポラスシェアード株式会社
川合 あいり	ポラスシェアード株式会社
鈴木 悠斗	埼玉県立入間わかくさ高等特別支援学校
高橋 翔	埼玉県立入間わかくさ高等特別支援学校
宇都宮 僚	埼玉県立特別支援学校 さいたま桜高等学園
芳賀 裕斗	埼玉県立特別支援学校 さいたま桜高等学園
日露 和輔	国立職業リハビリテーションセンター
小暮 晴海	国立職業リハビリテーションセンター
北角 沙樹	国立職業リハビリテーションセンター



パソコン操作

競技内容

この競技は、マイクロソフト Excel のデータ処理、PowerPoint との連携、Word の文書処理、インターネット検索で構成されています。指示書をもとに、用意されたファイルから分析・加工をして書類を完成させます。

視覚に障害のある選手は、テキスト情報を音声化する画面読み上

げソフト、画面の拡大・色の反転機能などにより選手ごとの見え方に合わせた環境を準備して課題に挑みます。課題を時間内に完成させるためには、ソフトの機能およびショートカットキーを覚えてうえで、テキストやボタンに素早くアクセスする必要があります。

関東ブロック売上実績（6月）

都道府県	売上
茨城県	103,183
栃木県	103,778
群馬県	90,256
埼玉県	34,259
千葉県	118,528
東京都	108,766
神奈川県	77,755





講評

競技者はパソコン画面の拡大、コントラストの調整といったアクセシビリティ機能の利用に加え、画面読み上げソフトの音声ガイドを活用し課題に臨んでいただきました。

画面読み上げソフトの音声ガイドによるパソコン操作を効率よく行うには、キーコマンドの活用がポイントになります。Word、Excel、PowerPoint、Web ブラウザの操作は各自スムーズに行うことができ、日頃の努力の賜物だと思います。しかし課題に取り組む中で操作の結果が思い通りに表示されず、試行錯誤に時間を取られていたように感じられました。

Excel のエラー値にはそれぞれ意味があります。理解することで作成した数式や関数のどこに誤りがあるか気づくヒントになります。また、提出していただいたファイルを確認したところ、指示書と異なる仕様で提出されているものがありました。職務において、指示通りに作業を行うことは大切です。指示書をよく確認し、仕上げとして見直しも行いましょう。

正確さとスピードの両立は働くうえで永遠のテーマです。日々の業務、訓練でより速く、より正確に、かつ負担を少なくできるよう、スキルを磨いていきましょう。

参加選手

(3 人)

氏名	所属先
増田 祥子	国立職業リハビリテーションセンター
高木 大輔	国立職業リハビリテーションセンター
大野 憲一郎	国立職業リハビリテーションセンター



喫茶サービス

競技内容

この競技は、模擬的に設置された喫茶店に来店したお客様へ、正確かつスムーズな接客サービスを提供する技術を競います。競技の流れは、「お客様を席に案内する。お客様から注文を受ける。注文を調理担当者に伝える。注文に応じて必要なものを準備する。注文された飲み物をお客様に出す。お客様が帰られたテーブルを片付ける。」という順番で作業が進んでいきます。





講評

喫茶サービス競技の選手の皆様、競技お疲れさまでした。日頃培った接客サービスは、できましたでしょうか。いつもと違う環境、競技・審査という緊張する中で、普段行っているサービスが上手く出来なかったと思う人もいるかもしれません。しかし我々競技員は、皆様の様子をしっかりと観察させていただきました。お一人お一人真剣に取り組まれており、お客様との対話、笑顔、姿勢、視線、声掛けのタイミング、歩くスピード、飲料運搬時の安心感など、それぞれ良い点をしっかりとお持ちでした。何より、お客様へ丁寧なサービスの提供をしようという思いが伝わってきました。今回は競技ではありますが、お客様はとても満足されていたと思います。

飲食業、サービス業には様々なものがありますが、お客様が「またこのお店に来たいなあ」と思っていただけ接客をすることが最も重要なことではないでしょうか。「またこのお店に来たいなあ」と思っていたくためには、どのようなことをしなければならいでしょうか。笑顔、身だしなみ、丁寧な言葉遣い、スタッフとのコミュニケーション、清掃など他にもたくさんあります。

今後サービス業への就職を目指している方は、この喫茶サービス競技の経験を活かし自信を持って目標に向かってください。また現在サービス業で働かれている方は、「またこのお店に来たいなあ」と思われるために、より一層業務に励んでいただきたいと思います。

今回競技に参加された皆様全員、素晴らしい接客をされていました。本当にお疲れさまでした。

参加選手

(12人)

氏名	所属先
堀川 梨沙	デコボコベース株式会社バーガーテラス大宮店
石倉 安七	第一ライフチャレンジド株式会社
中込 優太	株式会社 JR 東日本グリーンパートナーズ
松本 煌大	埼玉県立入間わかくさ高等特別支援学校
高橋 律夏	埼玉県立特別支援学校さいたま桜高等学園
福原 瑛子	国立職業リハビリテーションセンター

氏名	所属先
西嶋 比菜	株式会社 J A L サンライト
後藤 善之	株式会社 JR 東日本グリーンパートナーズ
伊東 稜太	埼玉県立入間わかくさ高等特別支援学校
橋本 つぐみ	埼玉県立特別支援学校さいたま桜高等学園
野沢 真季	社会福祉法人埼玉福祉事業協会
染谷 春花	国立職業リハビリテーションセンター



ビルクリーニング



競技内容

この競技の課題は、2つに分かれており、課題1はカーペット床面の掃除機による清掃、また、課題2は弾性床面の掃き・拭き掃除、机上の拭き掃除です。床に散らかっている細かい塵やシュレッター屑を除去するとともに、掃除機、ほうき、ちりとり、モップ、タオルなどを使用して床面や机上を清掃していきます。競技時間内に、作業準備から終了まで正しい手順に従い、効率的に作業を進めなければなりません。挨拶とともに、清掃作業の基本である「吸塵」「掃く」「拭く」がしっかりと行なわれているか、作業の流れ、ゴミの取り残しがないかなど、ビルクリーニング業務に求められる技能が厳しく審査されます。





講評

全体的によく練習をされていると思いました。合わせて競技レベルが年々上昇している点も感じられました。本番の緊張もあり、思わぬミスになってしまったのかと思う点もありました。

・ホウキ、ちりとりによるゴミ回収では、ちりとりへゴミを掃きながら入れる動作も大切です。ちりとりへゴミを入れる動作を確認してください。

・モップ拭き作業では、隙間の空かない作業が求められます。スピード重視で、隙間の空く方がいました。

・タオル作業でのタオルの折り返しの手数が多い方がいました。

ここはつまづきやすいので、しっかり練習してください。

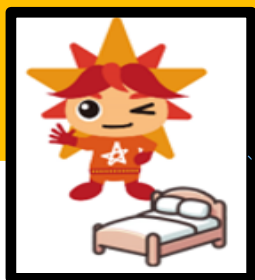
金賞受賞者とそれ以外の選手との間に「差」があるように感じました。上記を今一度、ご確認いただき、次の練習に活かしてほしいと思います。

参加選手

(11人)

氏名	所属先
河野 雅也	日東ひまわり関東株式会社
染野 大治朗	埼玉県立特別支援学校羽生ふじ高等学園
高橋 鳳生	埼玉県立特別支援学校羽生ふじ高等学園
富高 彩馨	株式会社 JR 東日本グリーンパートナーズ
並木 海空	埼玉県立入間わかくさ高等特別支援学校
辺野喜 蒼良	埼玉県立特別支援学校さいたま桜高等学園

氏名	所属先
新井 昂祐	埼玉県立特別支援学校羽生ふじ高等学園
高村 勇磨	埼玉県立特別支援学園羽生ふじ高等学園
長谷川 翔太郎	株式会社 JR 東日本グリーンパートナーズ
佐山 道成	埼玉県立入間わかくさ高等特別支援学校
波多野 宏志	埼玉県立特別支援学校さいたま桜高等学園



ベッドメイキング(ソロ・ペア)



競技内容

日ごろお客様の目には触れない仕事ぶりを競技とした、ベッドメイキング。ホテルで実際に使用されているシングルベッドを想定し、客室用リネンの交換作業を行います。単独で行うソロと二人で行うペアの部を実施し、より実務に近い内容にしました。

※この競技は、埼玉大会独自の競技水準とします。





講評

■ソロ

ソロの競技は①掛け布団と枕を動かし②シーツ、枕カバーをはがす③新しいシーツ、枕カバーをセットする④掛け布団と枕をもとに戻す。作業になります。

それ以外に忘れ物がないか確認し、あった場合は上司に報告できるかをみます。この一連の作業を1人で実施してもらいます。

今回競技を通して「できた箇所」「こうすればよかった箇所」があったと思います。戻ってからしっかり振り返りをしていただき、次に繋げていただければと思います。

■ペア

ペアの競技はソロ競技同様に①掛け布団と枕を動かし②シーツ、枕カバーをはがす③新しいシーツ、枕カバーをセットする④掛け布団と枕をもとに戻す。作業になります。それ以外に忘れ物がないか確認しあった場合は上司に報告できるかをみます。この一連の作業を2人で実施してもらいます。

相手の動きを見たり、声をかけながら実施できるかが重要になり、チームワークが必要になります。

今回競技を通して「できた箇所」「こうすればよかった箇所」があったと思います。戻ってからしっかり振り返りをしていただき、次に繋げていただければと思います。

参加選手

(8人)

■ソロ (4人)

氏名	所属先
志村 遥	ゆめの園アクト浦和多機能型事業所
小松 弘実	ゆめの園アクト浦和多機能型事業所
高木 美穂	株式会社 JR 東日本グリーンパートナーズ
黒野 智世	株式会社 JR 東日本グリーンパートナーズ

■ペア (3組)

氏名	所属先
舟山 英世	株式会社西武パレット
平林 楓貴	
志村 遥	ゆめの園アクト浦和多機能型事業所
小松 弘実	
林 昌宏	ゆめの園アクト浦和多機能型事業所
水村 公美	



オフィスアシスタント



競技内容

この競技は【3つの課題】から構成されています。

- ・【課題1】は、指定の書類や資材を指示書どおりに手提げ袋に入れてノベルティを作成します。
- ・【課題2】は、送付状どおりに書類等をそろえ、内容に応じて「2種類」の封筒に正確に封入するという文書の発送準備作業になります。
- ・【課題3】は、社内便を宛先と氏名を基に部署や内容別に正しく仕分けする作業です。





講評

オフィスアシスタント競技では、配布物の準備、発送物の封入、封筒の仕分けの各課題を通じて、事務作業に必要な正確性と作業品質が評価されました。多くの選手が作業手順を理解し、丁寧な作業を心掛けながら競技に取り組んでいました。また、限られた時間の中で、手順を工夫しながら効率的に作業を進めようとする様子も見られました。

一方で、競技全体を通して、確認をより丁寧に行うことで改善できる点も見受けられました。具体的には、書類や物品の向き・配置の誤り、宛名ラベルと送付状の照合漏れ、封入順序の間違い、仕訳ルールの見落としなどが見られました。これらは作業の節目ごとに確認することで防ぐことができるため、今後の課題として取り組んでいただきたいと思います。

また、作業を急ぐあまり、書類の折れやシワ、封筒の折り返しの乱れなど、成果物の品質に影響する事例も見受けられました。事務作業においては、作業量やスピードだけでなく、正確性や品質の維持が重要です。

今後は、正確な成果物を安定して作成できるよう、指示内容や作業ルールを最後まで確認すること、書類や封筒を丁寧に扱うこと、そして自分に合った作業手順を工夫しながら効率と正確性の両立を図ることが共通の改善点として挙げられます。今回の競技で得られた経験を今後の技能向上に生かし、さらなる成長へつなげていただきたいと思います。

参加選手

(15人)

氏名	所属先
樋口 絢女	個人参加
田口 心大	株式会社ジェイコムハート 越谷オフィス
若生 比呂子	株式会社ジェイコムハート 川口オフィス
吉岡 瑞姫	株式会社ジェイコムハート 久喜オフィス
吉川 智哉	第一ライフチャレンジド株式会社
池上 尚希	株式会社 JR 東日本グリーンパートナーズ
黒澤 慎太郎	株式会社 JR 東日本グリーンパートナーズ
古山 大樹	株式会社 JR 東日本グリーンパートナーズ

氏名	所属先
坂中 平和	ポラスシェアード株式会社
玉松 湊	埼玉県立特別支援学校さいたま桜高等学園
清水 泰輝	埼玉県立特別支援学校さいたま桜高等学園
杠 祐	埼玉県立特別支援学校さいたま桜高等学園
廣山 北斗	株式会社バンダイナムコウィル
大熊 天音	株式会社バンダイナムコウィル
古屋 玲	個人参加



小売物流ワーク

競技内容

倉庫にストックしてある品物を、指示書のとおり選び出してオリコン(折り畳みコンテナ)に詰めてゆきます。さらに、納品された品物が、伝票通りであるか確認し、店内の棚に補充して行きます。商品の向きや置き方にも気を配り、正確さと早さを競います。
※この競技は、埼玉大会独自の競技水準とします。





講評

参加選手の皆さん、競技お疲れ様です。今年度は「出庫課題」「入庫課題」の2つの課題について実施しました。日ごろの練習の成果は発揮できたでしょうか？

小売物流ワーク競技で行っている作業は、皆さんがものを買うスーパーや物流倉庫、等で力が発揮される作業になります。

今年度は、新たに入庫後の在庫数を追記する作業を追加しました。これによって作業時間に少し焦りが出た方もいたかもしれませんが、また、皆さんの普段扱っている品物と異なる商品も多かったと思います。

しかし物流の基本はどこに行っても変わりません。正しい商品を傷つけることなく、素早く作業することです。今後、正しい商品を「正確に」、商品に傷つけることなく「丁寧に」、無駄な動作をなくし「素早く」を意識して作業されるともっとよくなると思います。

参加選手

(7人)

氏名	所属先
石原口 貴樹	NXキャリアロード株式会社
井出 翔太	株式会社シーエックスカーゴ
越阪部 望	埼玉県立入間わかくさ高等特別支援学校
佐藤 奏太	埼玉県立入間わかくさ高等特別支援学校
境 翼	株式会社シーエックスカーゴ
田中 多聞	国立職業リハビリテーションセンター
江口 昇	国立職業リハビリテーションセンター



フラワーアレンジメント

競技内容

この競技は人々の生活空間や職場等に安らぎと喜びを与え、見る人や香りを感じる人の心を癒すといった花の持つ特性を引き出すと共に、限られた材料と時間の中で、作者の持つフラワーアレンジメントに関する基本的な知識と課題に対する理解力や創造力が求められます。





講評

今回は男性2名・女性2名の4選手の参加でした。基本をしっかり身につけて参加された人、まったく花材の扱いが出来てない人が、はっきりしていたようです。

来年度以降は、まず全体に課題に対する練習を重ね、花材の扱いに関する基本的な事を身に付けて参加してほしいと思います。

参加者全員が熱心に取り組まれている姿は、とても美しかったです。

参加選手

(4人)

氏名	所属先
原田 美穂	個人参加
青山 駿士	個人参加
相崎 水萌	株式会社 JR 東日本グリーンパートナーズ
武 大晴	埼玉県立特別支援学校羽生ふじ高等学園

開 会 式

1 日目は、9 時 00 分から開会式を行いました。大会会長の挨拶、埼玉労働局長による来賓祝辞のあと、スケジュール・諸注意の説明が行われました。選手たちは各競技会場へ移動し、いよいよ競技がスタートします。2 日目は、9 時 00 分よりオリエンテーションを行いました。



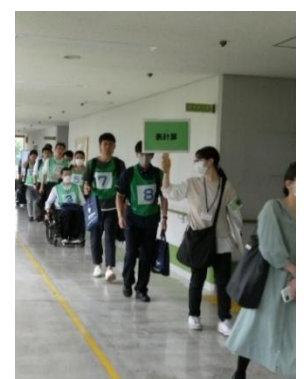
1日目:来賓の皆さま



2日目:来賓の皆さま



大会会長



閉会式・表彰式

1 日目は、15 時 10 分から、2 日目は、15 時 00 分より閉会式を行いました。競技種目ごとに、金賞、銀賞及び銅賞の受賞者を発表し、メダルが授与されました。また、埼玉独自競技には特別賞も授与されました。その後、大会会長より挨拶が行われ、第 22 回大会は無事終了しました。



併催イベント

交流広場

※1 日目実施の活動とその様子



◆社会福祉法人埼玉福祉事業協会



◆社会福祉法人皆成会



◆一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会 ※ボッチャ体験



◆株式会社トラストメディカル 【拡大読書器】



◆ケージーエス株式会社

交流広場

※2日目実施の活動とその様子



◆社会福祉法人埼玉福祉事業協会



◆社会福祉法人皆成会



◆株式会社 JR 東日本グリーンパートナーズ

◆奥村印刷株式会社



◆一般社団法人日本モルック協会 ※モルック体験

デモンストレーション

◆1日目 ネイル施術（NPO法人インターナショナルネイルアソシエーション、株式会社アルリア）



◆2日目 ドローン操作（一般社団法人日本ドローン協会埼玉支部／有限会社ドローンベース）



ボランティア

今回からボランティアの募集を実施し、埼玉県立大学から多くの学生さんに参加いただきました。



◆受付



◆選手の誘導



◆喫茶サービス（お客役）



◆1日目



◆2日目

広報活動

自治体等のホームページや広報紙、SNS への掲載依頼、会場近隣の公共施設へのポスター掲示依頼を積極的に行い、来場者数の増加を図りました。特に、埼玉県が発行する新聞折り込みの広報紙「彩の国だより」の 6 月号には写真入りで大きく掲載いただき、県内住民に広く広報することができました。また、4 月 29 日には浦和レッズホームゲームにおける埼玉県政 PR ブースへ出展し、PR しました。さらに入間ケーブルテレビに大会当日の様子を取材いただき、放映されました。



大会ポスター

ホームページ



J E E D埼玉支部



埼玉労働局



埼玉県



さいたま市



所沢市



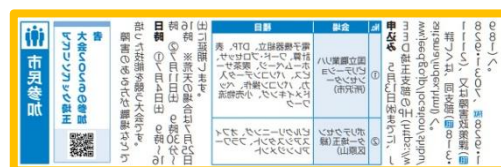
NPOコバトンびん



埼玉経協ニュース No451



さいbiz4月号



さいたま市 市報さいたま5月号

第22回埼玉県障害者技能競技大会

アビリンピック埼玉大会2026

アビリンピック(ABILYMPICS)って?

【能力(ABILITY)】と【オリンピック(OLYMPICS)】を合わせた造語です。大会では、選手たちが職場や学校で磨いた技能を競い合います。企業や地域の皆さんに障害のある方への理解を深めてもらい、雇用の促進を図ることを目的としています。ぜひ会場で選手たちが繰り広げる熱い競技をご観覧ください。成績優秀者は全国大会へ推薦。さらに世界大会への道も!

観覧無料 2週連続開催 それぞれ別会場で実施。ぜひお近くの会場へ!

★荒天等により延期となる場合は、7月25日(土)を両日の共通予備日としています

1日目

日時 7月4日(土)午前9時～午後4時
会場 国立職業リハビリテーションセンター
 所沢市並木4-2
 ★航空公園駅、新所沢駅下車徒歩15分

競技種目(10競技11種目)

- 電子機器組立
- 表計算
- ワード・プロセッサ
- DTP*
- ホームページ
- パソコンデータ入力
- パソコン操作
- 喫茶サービス
- ベッドメイキング(シロ・ペア)
- 小売物流ワーク

* Desktop Publishing(デスクトップパブリッシング)の略で、パソコン上で印刷物をデザイン・制作すること

2日目

日時 7月11日(土)午前9時30分～午後4時
会場 ポリテクセンター埼玉
 さいたま市緑区原山2-18-8
 ★浦和駅からバス(原山)下車徒歩3分、バス(駒場運動公園入口)下車徒歩6分

競技種目(3競技3種目)

- ビルクリーニング
- オフィスアシスタント
- フラワーアレンジメント

▲電子機器組立はんだ付けの仕上がりや動作の正確さを競います

▲ビルクリーニングはオフィスの清掃や送迎業務などの正確さとスピードを競います



アビリンピック 公式キャラクター「アビリス」

会場楽しんで!

- 体験コーナー
- ネイル施術体験(7月4日)やドローン操作体験(7月11日)★人数制限あり
- パラリンピック正式種目「ボッチャ」体験会(7月4日)
- 物販

企業や就労支援施設による手作りのお菓子や工芸品の販売

来場者プレゼント!

- ▲「アビリス」の横印入り
- ▲大会の詳細は公式ホームページをチェック

埼玉県広報紙 彩の国だより6月号

近隣駅・施設等へのポスター掲示



大宮駅公共掲示板



医療法人財団 博仁会 共済病院



J R東日本 浦和駅



ベルクス浦和原山店

その他…さいたま市 市民活動サポートセンター、ファミリーマート さいたま原山2丁目店、埼玉会館、駒場体育館、市立図書館、さいたま市青少年宇宙科学館 等

1.



2.



3.



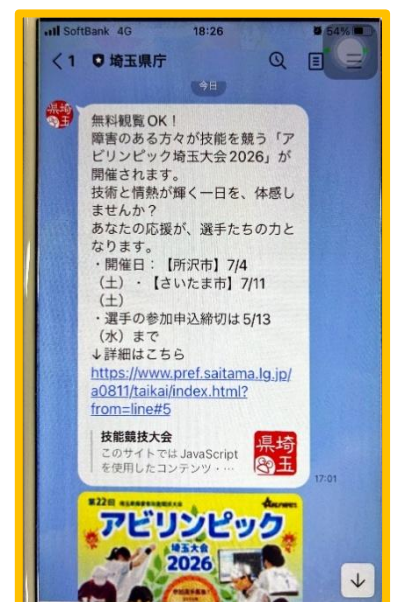
4.



5.



6.



7.



1. 彩の国だよりInstagram
2. 埼玉県庁X
3. 浦和レッズホームタウン公式X
4. 朝霞市社会福祉協議会X
5. 埼玉福祉事業協会X
6. 埼玉県庁公式 LINE
7. 所沢ナビX

◆NACK5

朝情報★埼玉（あさ★たま）←

放送日 4月21日(火) ①(4月14日収録)

2

第22回アビリンピック埼玉大会2026 にーせろにーろく 参加選手募集

1

ここで埼玉県からのお知らせです。←

7月4日と11日の土曜日に、⁴

に—ゼロに—ろく
第22回アビリンピック埼玉大会2026が開催されます。◀

アビリンピックは、障害のある方々が日ごろ培った技能を競い合い、

職業能力の向上や障害者雇用への理解促進を図ることを目的とした。

大会です。←

現在、大会参加選手を募集しています。←

参加費は無料。←

応募資格や申し込み方法など、詳しいことは、

JEED高齢・障害・求職者雇用支援機構埼玉支部のホームページをご覧ください

ださい。←

◆入間ケーブルテレビ

2026/07/04 18:49:00 | 制作日

プロフィール

アビリンピックって知ってますか？

#10

season12



■自己紹介
大崎のフットサルと陸上競技部の顧問です。人間関係が得意で、みんなからよく相談を受けます。

☆公式Twitterはコチラ

★ミニニイチヤン・リチャードさん
東京・11月5日
(5/27まで視聴してください)

▶「アーカイブ」
制作音が動く in Iruma その①
制作音が動く in Iruma その②
ドラマ・タピオック目録
元気になるまっ手芸会合

★番組の放送履歴★

最新情報

■コアセス様
1,755,675



皆さんこんにちは！
本日、国立難聴りいパティーンションセンターで「アビリンピック埼玉大会」が開催されました。

アビリンピックは、障害のある方がその個性を活かし、誇りをいう大会です。
従来障に社会参加できる機会が与えられることで、会場は盛り上がりを見せていました。

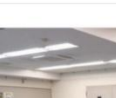
今回、大崎市のさくら町児童学校からは選抜された生徒11人が出場し、「伝えようプロジェクト」の一環として、同校の子供たちがサインやタブレットを通じて、大崎の魅力を伝えるための動画制作を行っています。

この動画を「ニュースより」として「あいま」で紹介します。

■放送日時のご案内■
「ニュースより」：7月6日号
「あいま」：7月6～7日号
「いんふ」：7月7～8日号

コメント downward arrow

入間ケーブルテレビでは、地域情報番組(「ニュースいるま」「いるまにあ」)において「アビリンピック埼玉大会」の様子が放送されました。競技の様子はもちろん、地元埼玉県立入間わかかさ高等特別支援学校の出場選手インタビューや、同校の生徒たちがタブレットを使用して大会動画を記録・編集する「つたえるカプロジェクト」についても紹介いただきました。



Instagram
ログイン
登録す



irumacatv・フォローする
...

irumacatv 編集済み・3週間前
@irumacatv

今通のおすの番組👉

- 〇〇ニュースいるま 7月14号 —
- ・ どもも未来会議
- ・ アポロJAZZのタペ
- 〇〇いるまにー
- アビリンピック埼玉大会2026
- 〇〇いるまコレクション —
- 鉄道模型Hゲージ 筑波線
- 〇7/16土 / 〇2/2土 一般開放!
- 〇詳細は番組またはYouTubeをチェック
- ♪チャンネルあいで放送中!
- ぜひご覧ください😊
- 〇入館クーポンテレビ 〇入館 〇地域情
- 報

♡ 20
🔍
🔖

7月13日

ログインすると「いいね!」やコメントができます。

ニュースいるま 7/14号

- ・ どもも未来会議
- ・ アポロJAZZのタペ

🕒
17:45～ / 22:15～ / 翌9:00～

入間わかかくさ

私たちはもっと輝く。力強く社会へ。







入間ケーブルテレビで放送されました！



7月4日（土）と7月11日（土）に開催されたアビリンピック埼玉大会に、本校職業学科の生徒が出場しました。日頃の練習の成果を発揮し、それぞれの競技に真剣に取り組む姿が見られました。

また、生徒たちの活躍の様子を入間ケーブルテレビ様に取材をしていただき動画にまとめてくださいました。ぜひ生徒たちの姿をご覧ください。

Jリーグ「県政 PR ブース」へ出展

埼玉県の協力により、浦和レッズホームゲーム(4月29日)の「県政 PR ブース」へ出展し、第22回アビリンピック埼玉大会2026のPRを行いました。大会チラシやグッズの配布、令和7年度大会の写真展示のほかアンケートに回答いただいた方に景品をプレゼントしました。大会マスコットキャラクター「アビリス」も登場し、大いに盛り上がりしました。



大会関連①

★入賞者記念品

■メダル（金賞、銀賞、銅賞）



◆株式会社埼玉りそな銀行

■特別賞「盾」（埼玉独自競技）



◆株式会社埼玉新聞社

（金賞入賞者）
*ベッドメイキング
*小売物流ワーク

■副賞（どら焼き）



◆株式会社十万石ふくさや

■記念品（フライトタグ）



◆浦和レッドダイヤモンド株式会社

★参加者記念品

■表彰状（奨励賞・入賞者以外）

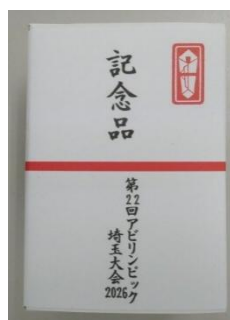


◆NXキャリアロード株式会社

■記念品一式（まんじゅう、麦茶、ステッカー、クリアファイル、団扇、ボールペン）



◆ポラス株式会社



◆株式会社十万石ふくさや



◆株式会社ヤオコー

★一般来場者記念品（一般来場者にも記念品一式が配布されました）

■看板



■喫茶サービス競技提供品



◆NP0 法人みのり領家グリーンゲイブルズ
*コーヒー

◆社会福祉法人ヤマト自立センター
*ラスク（競技用・大会参加選手用）

■ボランティア、入間わかくさ取材者生徒への弁当



◆バルクス浦和原山店提供

大会関連②

第22回アビリンピック埼玉大会2026
協賛企業および協賛内容



浦和レッドダイヤモンズ
株式会社

協賛内容
ステッカー(選手・来場者に配布)
フライトタグ(全競技副賞:金賞・銀賞・銅賞)



株式会社埼玉新聞社

協賛内容
埼玉独自競技特別賞「盾」
(ベッドメイキング・小売物流ワーク:金賞)



株式会社埼玉りそな銀行

協賛内容
会場入口用大会立て看板
入賞記念メダル(全競技:金賞・銀賞・銅賞)



株式会社十万石ふくさや

協賛内容
オリジナル十万石まんじゅう(選手・来場者に配布)
オリジナルどら焼き(全競技副賞:金賞・銀賞・銅賞)



所沢なび

協賛内容
大会開催案内の無料配信



ポラス株式会社

協賛内容
団扇、クリアファイル(選手・来場者に配布)



NPO法人みのり
領家グリーンゲイブルズ

協賛内容
自社焙煎のコーヒー(喫茶サービス競技使用)



株式会社ヤオコー

協賛内容
自社ブランド飲料(選手・来場者に配布)



社会福祉法人
ヤマト自立センター

協賛内容
競技用特製ラスク(喫茶サービス競技使用)
自社製ラスク(選手に配布)



NX キャリアロード株式会社

NXキャリアロード株式会社

協賛内容
賞状用紙・ケース(全競技:奨励賞)